

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	スキー場管理事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	スキー場			
	意図	町民スキー場の維持管理及び改修整備			
事業内容	平成22年度	町民スキー場の改修・整備			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	1,365				1,365
平成22年度	4,532				4,532

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	施設利用人数	54,609人	前年度比較	87%
平成22年度	施設利用人数	59,185人	前年度比較	108%

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	整備改修は優先順位を付けて適切な管理を行い、計画的に実施のこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	総合体育館指定管理事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	他
目的	対象 (誰、何を)	総合体育館			
	意図	総合体育館の維持管理及び施設を利用したソフト事業の実施			
事業内容	平成22年度	指定管理協定に伴う施設の維持管理業務及びソフト事業の実施			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	19,420				19,420
平成22年度	19,390				19,390

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	施設利用人数	54,795人	前年度比較	116%
平成22年度	施設利用人数	51,152人	前年度比較	93%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今 後 の 方 向 性 ・ 意 見 等
現状継続	H23より5年間の指定管理者制度を継続しており、今後、より一層の効率的な管理・サービスを期待する。

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	総合体育館補修事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	委託
目的	対象 (誰、何を)	総合体育館			
	意図	総合体育館の改修、整備			
事業内容	平成22年度	総合体育館の改修、整備			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	639				639
平成22年度	630				630

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	施設利用人数	54,795人	前年度比較	116%
平成22年度	施設利用人数	51,152人	前年度比較	93%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	利用者の安全に努め、適宜必要な補修や交換等を計画的に行なうこと

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	体育施設等整備事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	各スポーツ施設			
	意図	各スポーツ施設の維持管理、改修整備等			
事業内容	平成22年度	各スポーツ施設の維持管理、改修整備等			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	1,834				1,834
平成22年度	3,675				3,675

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	施設利用人数(スポーツ公園)	37,728人	前年度比較(合計)	88%
	施設利用人数(南町運動広場等)	10,430人		
	施設利用人数(武道館)	3,827人		
平成22年度	施設利用人数(スポーツ公園)	41,767人	前年度比較(合計)	108%
	施設利用人数(南町運動広場等)	9,955人		
	施設利用人数(武道館)	4,179人		

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

	チ ャ ッ ク 項 目	評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	各施設の計画的な整備、補修を行うこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	スポーツ振興事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	各種スポーツ愛好者			
	意図	スポーツの関心を深める。各スポーツ団体への支援			
事業内容	平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>各スポーツ大会の賞品・賞金</li> <li>羽体協、スポーツ少年団等への補助、各大会の運営補助</li> </ul>			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	2,978				2,978
平成22年度	2,784				2,784

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	イベント参加者数	1,224人	前年度比較	99%
平成22年度	イベント参加者数	1,071人	前年度比較	88%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	町民が気軽に参加できるスポーツの研究・普及、これに対応する指導者の育成を図り、誰もがスポーツに親しめる環境整備を行なうこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	スポーツ振興補助事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	各種スポーツ団体			
	意図	地区大会を勝ち抜き全道レベルの大会に出場する場合の補助			
事業内容	平成22年度	補助金交付			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	160				160
平成22年度	30				30

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	対象団体件数	3件	使用率	150%
平成22年度	対象団体件数	1件	使用率	50%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	スポーツ団体等活発な活動を行っており、大会出場に対し支援を行っていくことで現状継続

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	スキー場索道関係負担金				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	担当職員			
	意図	スキー場索道関係の資格取得に係る負担金			
事業内容	平成22年度	索道管理者研修会、索道管理者基礎講習会等			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	23				23
平成22年度	8				8

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	スキー場利用者数	54,609人	前年比	87%
平成22年度	スキー場利用者数	59,185人	前年比	108%

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	町民スキー場索道(リフト)運営に必要な資格であるため、現状継続

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	図書室運営事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	図書室			
	意図	図書資料、視聴覚資料、その他必要等の整備充実を行うことにより、町民に自由に学習する機会を提供する。			
事業内容	平成22年度	図書室の運営管理、図書・視聴覚資料の購入			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	4,142				4,142
平成22年度	4,009				4,009

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	図書貸出人数	6,963人	図書貸出人数前年度比	98%
	図書貸出冊数	30,448冊		
			図書貸出冊数前年度比	103%
平成22年度	図書貸出人数	7,134人	図書貸出人数前年度比	102%
	図書貸出冊数	32,760冊		
			図書貸出冊数前年度比	102%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	図書資料、視聴覚資料、その他必要な整備充実を行うことは、住民が自由に学習する機会を提供するのに重要な役割を担っている。 現在の図書室の課題を様々な視点から検討の必要である。



## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	公民館管理事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	町民、教育関係団体、サークル団体			
	意図	公民館の維持管理(町民の多様なニーズに対応できる施設を整備し、安全で快適な生涯学習の場とする)			
事業内容	平成22年度	公民館運営審議会運営、公民館管理賃金、管理用消耗品・修繕管理用燃料費、音響舞台吊物管理等			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	21,313			1,361	19,952
平成22年度	23,942			1,080	22,862

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	公民館利用者数	52,817人	利用者数前年度比	86%
平成22年度	公民館利用者数	38,026人	利用者数前年度比	72%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	3
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	必要の都度、計画的な整備が必要であり現状継続

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	社会教育振興事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	一般住民			
	意図	町民の生涯にわたる自己実現や生きがい感を育てるために、自らが学ぶ機会の拡充を図る。			
事業内容	平成22年度	いちい大学の開設及び運営等、文化賞・体育賞・優良青少年顕彰式、成人式 天売焼尻芸術劇場の開催、少年少女芸術劇場、町民芸術祭の開催、 文化交流作品展の開催			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	4,001				4,001
平成22年度	3,786				3,786

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	公民館利用者数	52,817人	利用者数前年度比	86%
平成22年度	公民館利用者数	38,026人	利用者数前年度比	72%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今 後 の 方 向 性 ・ 意 見 等
現状継続	町民が学ぶ場を提供するのは重要であり、各事業は社会教育の主たる事業であり、現状継続

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	社会教育施設管理事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・委託
目的	対象 (誰、何を)	各社会教育施設			
	意図	町内各社会教育施設の運営及び維持管理 文化財及び天然記念物の保存整備			
事業内容	平成22年度	焼尻郷土館の運営管理、天然記念物の保護監視、文化財の保護及び整備 羽幌町郷土資料館運営管理、文化道場運営管理			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	4,031			588	3,443
平成22年度	4,367			631	3,736

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	施設利用者数	2,255人	利用者数前年度比	110%
平成22年度	施設利用者数	1,976人	利用者数前年度比	88%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の割合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の割合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度割合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度割合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の割合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	資料館や文化財は、当町の歴史や文化を伝える重要な施設であるため、保存・維持管理を今後も継続して実施すること

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	社会教育推進事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・補助
目的	対象 (誰、何を)	文化・体育団体			
	意図	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化体育団体を通じた姉妹都市交流事業を実施することにより、両町の絆を深め、姉妹都市の意義を後世に伝える</li> <li>文化作品の交流をととして、相互の文化活動の交流を図る</li> </ul>			
事業内容	平成22年度	姉妹都市「内灘町」交流事業 社会教育関係団体への活動支援			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	2,697				2,697
平成22年度	1,523				1,523

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	交流団体	1団体	交流団体	1団体
平成22年度	交流団体	1団体	交流団体	1団体

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	3
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	姉妹都市交流については、交流のきっかけを作ることに主眼を置いている事業のため、今後も継続

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	子育て支援事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・委託
目的	対象 (誰、何を)	就学前児童、未就学園児親子			
	意図	就学前児童、未就学園児親子に演劇等の鑑賞機会を提供し、子育てや家庭教育の向上を図る			
事業内容	平成22年度	のびのび子育て教室公演(幼稚園・保育所対象、入園前乳幼児対象)			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	238				238
平成22年度	300				300

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	計画公演回数	2回	実施回数	1回
平成22年度	計画公演回数	1回	実施回数	1回

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	3
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	社会教育における子育て支援も非常に重要と考え、現状を継続して実施のこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	社会教育施設整備事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	委託
目的	対象 (誰、何を)	町内社会教育施設(かるた道場、旧光洋小学校、文化道場、羽幌町郷土資料館)			
	意図	各施設の維持管理			
事業内容	平成22年度	収蔵庫(旧光洋小学校)屋根補修、文化道場建具補修、かるた道場物置解体			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	837				837
平成22年度	2,136				2,136

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	施設利用者数	479人	利用者数前年度比	64%
平成22年度	施設利用者数	553人	利用者数前年度比	115%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	資料館は、当町の歴史や文化を伝える重要な施設であるため、その保存及び整備は今後も継続して実施すること

事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

事業の概要

事務事業名	図書情報システム整備事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・委託
目的	対象 (誰、何を)	図書室			
	意図	図書室の蔵書点検、貸出、返却業務の効率化			
事業内容	平成22年度	図書システム導入(賃借)			

事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	179				179
平成22年度	979				979

事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	図書貸出人数	6,963人	貸出人数前年度比	98%
	図書貸出冊数	30,448冊		
			貸出冊数前年度比	103%
平成22年度	図書貸出人数	7,134人	貸出人数前年度比	102%
	図書貸出冊数	32,760冊		
			貸出冊数前年度比	102%

評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	システム導入後も整備、充実については継続して実施すること

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	読書活動推進事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	9か月児健康審査の対象者とその保護者、小学校低学年、未就学児童			
	意図	ブックスタートパックの配布と共にブックスタートの趣旨の説明および読み聞かせの実践を行うことにより、絵本を使った親子のコミュニケーションの促進を促す。 図書離れを緩和するため、工作や読み聞かせを行い、図書との係わりを持たせる。			
事業内容	平成22年度	ブックスタート事業、仕掛け絵本の展示、自作絵本			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	54				54
平成22年度	71				71

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	図書貸出人数	6,963人	貸出人数前年度比	98%
	図書貸出冊数	30,448冊		
			貸出冊数前年度比	103%
平成22年度	図書貸出人数	7,134人	貸出人数前年度比	102%
	図書貸出冊数	32,760冊		
			貸出冊数前年度比	102%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	幼少期からの絵本や活字とのふれあいが非常に重要であり、継続して実施すること



## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	文化協会補助金				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	補助
目的	対象 (誰、何を)	文化協会加盟団体、町民			
	意図	文化協会の運営及び活動を支援し、町民の文化活動の推進を図る。			
事業内容	平成22年度	歌と踊りの交流まつりの開催、文化協会表彰(青少年表彰、一般功績)の実施 羽幌町民芸術祭の実施、日本の凧展の開催、留萌地方道民芸術祭の実施及び参加 加盟団体の活動支援			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	252				252
平成22年度	285				285

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	目標事業実施数	5回	事業実施率	100%
平成22年度	目標事業実施数	5回	事業実施率	100%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	文化協会や個人の文化活動の場の提供と発表の機会や相互交流を図る事業を行っており、今後もより活発に自主的な活動を行えるよう支援を行うこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	焼尻郷土館整備事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	委託
目的	対象 (誰、何を)	焼尻郷土館			
	意図	郷土の歴史を保全し、観光資源・郷土学習の場として活用する。			
事業内容	平成22年度	焼尻郷土館の保存・整備に係る事業の実施			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	200				200
平成22年度	374				374

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	利用者数	1,776人	事業実施率	116%
平成22年度	利用者数	1,423人	事業実施率	80%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	資料館は、当町の歴史や文化を伝える重要な施設であるため、今後も必要に応じた保存及び整備を行うこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	文化公演事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・補助・委託
目的	対象 (誰、何を)	地域住民			
	意図	演奏、演劇、その他文化に関する公演等の鑑賞機会を提供することにより、住民の文化活動の推進を図る。			
事業内容	平成22年度	四代目江戸屋猫八襲名独演会 大黒摩季&KAZUMIドリームライブ2010 椎名軽穂作品展			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	805				805
平成22年度	3,396			1,000	2,396

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	公民館利用者数	52,817人	利用者数前年度比	86%
平成22年度	公民館利用者数	38,026人	利用者数前年度比	72%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	町民へ芸術文化にふれ合う機会を提供しているおり、今後も手法や内容を検討して事業を実施すること

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	公民館改修事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・委託
目的	対象 (誰、何を)	公民館			
	意図	公民館の維持管理を行い、教育文化・生涯学習の場として活用する。			
事業内容	平成22年度	小ホール床材取替補修、非常用照明器具補修、消化栓設備非常起動用鉛蓄電池取替補修、誘導灯機器取替補修、大ホール音響設備整備業務委託			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	4,022				4,022
平成22年度	2,451				2,451

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	公民館利用者数	52,817人	利用者数前年度比	86%
平成22年度	公民館利用者数	38,026人	利用者数前年度比	72%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	公民館は生涯学習推進の拠点施設としての役割を担っていることから、今後も計画的な改修整備を実施のこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	公民館用備品購入事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営・委託
目的	対象 (誰、何を)	公民館			
	意図	利用者に対する利便性、安全性を図るもの。			
事業内容	平成22年度	拡大印刷機購入、消火器購入(耐用年数経過分)			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	0				0
平成22年度	737				737

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	公民館利用者数	52,817人	利用者数前年度比	86%
平成22年度	公民館利用者数	38,026人	利用者数前年度比	72%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	4
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今 後 の 方 向 性 ・ 意 見 等
現状継続	公民館は生涯学習推進の拠点施設としての役割を担っていることから、安全性を図る上で必要不可欠なものは、今後も継続して計画的に整備を進めていくこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	ウィークエンドサークル事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	児童生徒			
	意図	地域における児童の学校外活動を促進するとともに、児童・生徒の精神的な育成を推進することを目的とする。			
事業内容	平成22年度	子ども自然教室、リーダー講習会、子ども英会話教室、百人一首大会			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	104				104
平成22年度	155				155

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	参加者数(自然教室)	225人	参加者数前年度比	97%
	活動回数(自然教室)	11回		
			活動回数前年度比	122%
平成22年度	参加者数(自然教室)	238人	参加者数前年度比	106%
	活動回数(自然教室)	11回		
			活動回数前年度比	106%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥当性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の割合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の割合】	4
有効性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度割合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度割合】	3
効率性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の割合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公平性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	学校以外での人間関係を構築する経験や自然の中での活動など、少年期に非常に重要な活動・経験であり、児童健全育成に関する事業として現状継続

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	成人講座事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	成人町民			
	意図	町民ニーズに合う学習機会を提供し仲間づくりを推進する。			
事業内容	平成22年度	各種講習会、講習			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	22				22
平成22年度	111				111

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	参加者数	20人	参加者数前年度比	38%
平成22年度	参加者数	50人	参加者数前年度比	250%

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	3
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	3
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	4

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	参加者数の増となるような講習内容を検討して、継続実施のこと

## 事務事業評価シート(平成23年度事務事業評価)

## 事業の概要

事務事業名	文化スポーツ振興事業				
主管課名	社会教育課	事業主体	町	事業種別	直営
目的	対象 (誰、何を)	文化体育団体			
	意図	羽幌町において実施されるスポーツ合宿を誘致し、スポーツ文化の振興と地域の活性化を目指して、その円滑な運営を図る			
事業内容	平成22年度	町内での合宿活動に対する補助			

## 事業費の推移(単位:千円)

年度	総事業費	財 源 内 訳			
		国・道支出金	地方債	その他特財	一般財源
平成21年度	0				0
平成22年度	501				501

## 事務事業を評価する実績(ものさし)

年度	活 動 実 績		目 的 達 成 度	
平成21年度	利用団体数	0団体		
平成22年度	利用団体数	8団体		

## 評価(チェック)【評点区分】4 適切 3 概ね適切 2 改善の余地がある 1 不適切

チ ェ ッ ク 項 目		評 点
妥 当 性	町民や社会の要求に合致しているか 上位施策を達成するために必要な事務事業か【目的妥当性の度合】 行政が関与しなければならない事務事業か【公共性・公益性の度合】	4
有 効 性	目的達成度から見て、目標の達成度はどの程度か【達成度合】 目的を達成するための手段(実施方法)は有効か【手段有効度合】	3
効 率 性	投入した予算や人員に見合った効果が得られているか【費用対効果の度合】 効率的な方法で実施しているか【同じ経費でもっと効率的な方法はないか】	4
公 平 性	受益者負担は適正か 当該事業による利益が、特定の個人や団体に偏っていないか	3

## 評価結果(行政評価委員会)

総合判定	今後の方向性・意見等
現状継続	スポーツ文化の振興と地域の活性化のため、継続して実施すること